

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	WALLESS ACADEMY 永平寺		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 17日 ～ 2025年 2月 25日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	57 (回答者数)	37
○従業者評価実施期間	2026年 1月 17日 ～ 2025年 2月 7日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3 (回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様の特性や状況に合わせて個別で支援を実施。	発達特性に応じて専門的な知識のさらなる向上に向けて外部講師を踏まえた研修会の開催。	それぞれの課題、特性を踏まえた支援の充実
2	学校等との連携により、本人への支援のみに関わらず、本人を取り巻く環境をも意識した視点	学校等との共有カンファに定期的に参加。学校での本人の様子、成長、課題について支援者で共有して支援への活かしている。	学校との共有カンファにて得られた情報をどのように支援に生かすのか知見の向上。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別支援を中心としており、個別スタッフの配置が必須。その中で資格、これまでの経験だけではなく、日々の支援の質の向上をどうするのか。	一人の利用児童に対して複数の専門職をチームとして配置。さまざまな専門的な視点から利用児童をアセスメントする体制はできている。	個別のスタッフの経験、知識だけに頼るだけではなく、事業所全体での支援スキルの向上を体系的に実施していくことが必要。
2	個別支援のため、安定したスタッフ配置が条件での支援となる。マンパワーの不足が直接支援体制に響いてしまう事業形態	他福祉事業所では、外国人等の活用も見られるが、現在の支援体系では外国人雇用は困難である。	1年2年がかりでのスタッフの採用や資格取得支援、研修等の実施を体系的にしていけることが必要。
3			